

龍江地区 文化祭・芸術祭

二月二日に行われた芸能祭。印象に残ったのは子供たちが地域を盛り上げたいという思いで、楽しく一生懸命にステージ発表をしていた姿でした。また、平成二十八年の龍江小学校四年生が作詞した『ふるさとのたからもの』を当時作詞した学生らが参加し歌うなど、幅広い年齢層の方が出演され、みんなで盛り上げて行われたステージが楽しかったです。

たつえ元気太鼓

その名の通り元気
いっぱい。ソロパート
もあり見どころ満載
な演奏でかつこやか
かったです！



龍江小学校3年生
影絵「尾科の文吾」

地域の魅力を発信しようと「推し活」に取り組み、地域に伝わる民話を影絵で発表。

手の込んだ影絵と一場面ずつ変わるカラフルな背景、手作りの小道具で効果音を表現するなど、クオリティの高い発表でした。

文吾岩を見てきました！

影絵の発表で出てきた文吾岩調べたらその岩が見れるということ
で、気になったので芸能祭の帰りに
見に行ってきました。奥のほうに神
社があり、入口に気付かず、一度通
り過ぎてしまいました。



尾科諏訪神社 文吾岩入口

静かな場所、空気も澄んでいて気持ちの良い場所でした。

ストーリーの記憶がホヤホヤな状態だったので、岩の由来を見ながら劇の場面を思い出しました。

大吾岩の由来

文豪は、食料科に生れた。幼い頃から体が丈夫な子でよく食べて大食ひ、不思議なほど力があった。

竹飯田越前城の時は一入で大きな笹簀ばかり持ちこんだ。一人だけ振いたり石を投げるなど進んで持たし上げていた。今もその石が飯田の記録に残っている。

又ある時は、文豪は用事で通りかかる道に大きな石が落ちた大穴があつて困つていろゝを運んで、おれが代付してやるように、川の中へ投げこみした。そして山の腹にもちぎるか上かう、それを挟いだんだかの上へ置いたりしたので、みんなそれをするに、その時の文豪の定例と、男は、シンボル的な食料をもつておれが替について、今は、そこにしたまふ。水や食料にはよくくわんと眠られていて、

足利小公家傳本会

文吾岩の由来

人形劇定期公演(2月)

2025年 **2月23日**(日・祝) **10時30分**開演

会場 飯田人形劇場 **料金** 200円(3歳未満無料)

出演劇団と上演作品

飯田市立龍江小
尾科の文吾

総合的な学習の時間に臨江の良さを広めるための
“おし語”に取り組んだ16人。地区に伝わる、
力持ちの太舅の話を題材として通します。



シアター奇望堂
起きろ!

大事な朝なのにちっとも起きないサトシ君。
どうすれば起きるの？昨夜は何していたの？
いろんな道具たちがしゃべりたすどタバタ系の
一人芝居です。

●ご用いただくには事前にお電話でご予約、またはチケットをお買い求めください。
●会場は、佐賀県佐賀市佐賀区大町1-1-1 佐賀県立佐賀美術館です。

スタンプカード やってます 近所の店を回ってスタンプを集め、特典をゲットしよう! 特設Webサイトのリンクを記入してね

特典2 優待チケット—プロ制作の公演を優待料金で観覧しよう。＊2025年度に計画する公演を対象です

チケット予約 いしだ人形劇センター ▶ チケット販売 飯田文化会館、川本喜八郎人形美術館

子どもたちが自分たちで地域の歴史を語っている姿に、とても感動しました。今回、小学生の子たちの発表で新たに龍江のことを知る機会をいただけたのは、とても良かったです。

今週末また発表があるということなので、まだ見たことのない方はぜひ見に行ってみて下さい。



文吾岩